

都市交通委員会 実地視察報告

2026 年 7 月 1 日に、都市交通委員会が名谷車両基地を視察しました。

名谷車両基地は、昭和 52 年の建設以来、神戸市営地下鉄西神・山手線、北神線の安全運行を支えてきた施設です。基地内には検車場や車両工場のほか、電気作業場、保線作業、職員研修所も併設されています。

今回の視察では、研修施設の概要について説明を受けた後、運転士の訓練に活用されているシミュレーターを体験しました。速度調整や定位置への停止など、運転士に求められるさまざまな操作を体感したほか、パンタグラフなどの車両設備についても説明を受けました。普段は目にする機会の少ない車両の構造や運転技術に触れ、安全運行を支えるために高度な技術と日々の点検が欠かせないことを学びました。

さらに、基地内には実際に神戸市内を走行していた神戸市電が保存されており、市電の歴史や役割についても説明を受けました。現在の地下鉄へとつながる神戸の公共交通の歩みを振り返るとともに、その発展の歴史にも触れることができました。

今回の視察を通じて、地下鉄の安全運行を支える現場の努力や技術の高さへの理解を深めました。今後も安全・安心な公共交通の実現に向けた取り組みに注視してまいります。

